



J M Y S 日本模型ヨット協会

第11回 市販艇クラス全日本選手権大会

【帆走指示書】

1. 適用規則

本大会は、2013～2016 国際セーリング競技規則・付則 E（無線操縦による艇の競技規則）
J M Y S 市販艇クラスルール レース公示及び帆走指示書による。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、本部前に設置された公式表示板又は口頭で通告する。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、当日のスキッパーミーティング時に行う。

4. レースの日程

2014年10月12日（日曜）	10:30 スタート、	16:00以降のスタートはしない。
2014年10月13日（月曜）	09:00 スタート、	13:00以降のスタートはしない。

5. 使用電波

受付時に本部にて決定する。

<交換クリスタルを用意すること>。

6. レース方式

ヒートとヒートの間隔は、前ヒートの全出場艇回収直後から5分後までに次のヒートの5分前スタートテープを入れる。トラブルやセール交換などの時間が必要な場合は、スタート3分前までに申請することとし、5分間与えられる。その時から5分後に5分前のスタートテープを入れる。

7. レースエリア及びコントロールエリア

静岡県 県立自然公園「丹野池公園」とし、コントロールエリアは西側ウッドデッキとする。出艇はウッドデッキ南端にある棧橋及びその南側（池に向かって右側）のエリアとする。詳細は公式掲示板又は口頭で通告する。

8. コース

- レースコースは、別紙1の通りとする。
- コースは、スタート3分前までに公式掲示板と口頭で通告する。

9. マークバイ

色又は番号で識別したものを使う。

10. 障害物及び浅瀬の区域

当日のスキッパーミーティング時に口頭又はその他の方法で通告する。

11. スタート

ルール適用は1分前とする。この時水面上でコントロールされていないヨットは、スタート信号後に手元より押し出さずに放し、スタートラインを通過しなければならない。

12. コースの次のレグの変更

E3.8 第3章の規則のその他の変更。

コースの変更及び、短縮は各レースがスタートする3分前までに通告する。

13. 規則 44 に対するペナルティー

1 回のタックと 1 回のジャイブを含む 1 回転とする。

14. フィニッシュ・タイムアウト

タイムアウトはトップ艇のフィニッシュ後、3 分とする。

15. 抗議と救済請求

ケースを確認し、他の艇に抗議しようとする艇は、自艇のセール番号とともに「抗議」という言葉と相手艇のセール番号を 2 度確実に相手に声をかけること。抗議を受けた艇は、ケース確認の意思表示を行うこと。意思表示無き場合、プロテスト委員またはレースオブザーバーは再度、意思表示を求めることができる。

抗議を出す艇は当該ヒートの終了後 5 分以内にレース委員会に伝えなければならない。

E2.1 (b) セールナンバーは、1 桁ずつ数字を呼ばなければならない。

例えば「15 (じゅうご) ではなく「1 (いち) 5 (ご)」と発声する。

16. 救済

無線妨害または明らかに主催者側の不手際が原因の電波障害。避ける事を要求されている艇またはルームを与えることを要求されている艇とのもつれ。

救済の請求期限は当該ヒートの終了後 5 分以内とする。救済に伴う得点については、直前の 2 レースの平均とする。

(1 レース目では、2 レース目、3 レース目の平均点。2 レース目は、1 レース目、3 レース目の平均点とする。

つまり直前のレースが無い場合は、直後のレースも加味し、2 レースの平均とする。)

フィニッシュ間際など、順位が客観的に見て明らか場合は、プロテスト委員会の判定に従う。

17. 無線操縦不能の艇

ただちにセール番号と「操縦不能」をレース委員会に通知し リタイアしなければならない。

18. 得点

低得点方式、捨てレースを採用する。

1 位：1 点 2 位：2 点 3 位：3 点。以下順位と同じ点とする。

- ・タイムアウト —— ヒートの出場艇数+1 点
- ・リタイア —— ヒートの出場艇数+1 点
- ・失格 —— ヒートの出場艇数+1 点

捨てレースの数は下記による。

7 レース終了後 捨て 1、14 レース終了後 捨て 2、21 レース終了後 捨て 3

19. その他

本帆走指示書に規定されていない項目で、発生した問題については、レース委員会が裁定し競技者に口頭又は公式表示板で通告する。

別紙1

◇コース構成

